

栽培が禁止されていないけし*

一見すると、栽培が禁止されているけしと見分けのが困難です。特に、ナガミヒナゲシは都内各地で見られ、セティゲルム種（アツミゲシ）とよく間違えられます。

また、オニゲシはブラクテアツム種（ハカマオニゲシ）とよく間違えられます。

ナガミヒナゲシ



オニゲシ



ナガミヒナゲシの葉の特徴



- ・茎、つぼみに粗毛が生えている。
- ・葉には葉柄があり、茎の下部の方から生えている。
- ・葉脈の形に深く切れ込みがある。

大麻の所持・栽培は違法です

大麻

マリファナやハシッシュの原料となるため、栽培はもちろん、持っているだけでも犯罪になります。

4月～5月初めごろに芽を出し、7月には1～3m位まで成長します。

大麻（全草）



大麻の葉の特徴



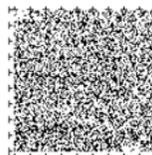
- ・小葉が付け根の一点でつながっている。
- ・葉の大きさは10～30cmで、通常1～11枚の奇数の小葉に分かれている。
- ・小葉の縁はノコギリ状の鋸歯があり、平行な葉脈がある。

栽培が禁止されているけしや大麻を見つけたときは、**抜かずに**下記の連絡先へお知らせください。

■けしや大麻を見つけたときの連絡先■

東京都保健医療局健康安全部薬務課麻薬対策担当
電話 03 (5320) 4505 ダイアルイン
又は各警察署薬物対策担当

令和6年7月発行 登録番号(6)43
編集・発行 東京都保健医療局健康安全部薬務課
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)4505
写真 東京都薬用植物園ほか
印刷 正和商事株式会社



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルで使えます。



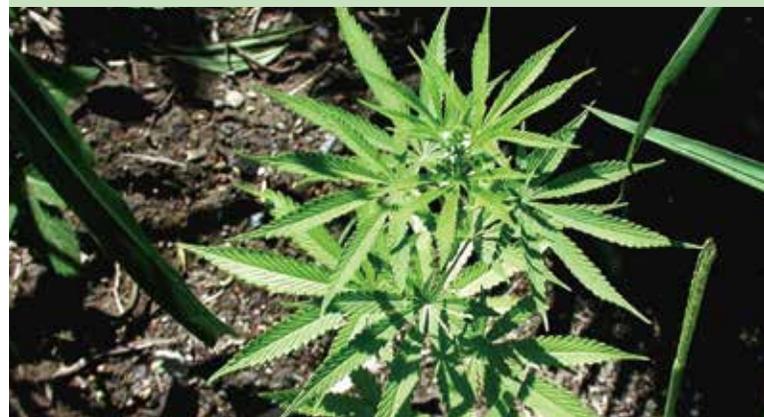
御存じですか

栽培が禁止されている植物があります



不正大麻・けし撲滅運動

東京都



栽培が禁止されているけし



ソムニフェルム種

5月～6月ごろに赤、白、紫など多様な色の花を咲かせます。草丈は100～150cm程度で、大きなものは、大人の背丈ほどの高さになります。美しい花を咲かせるため、誤って観賞用に栽培されてしまうことがあります。

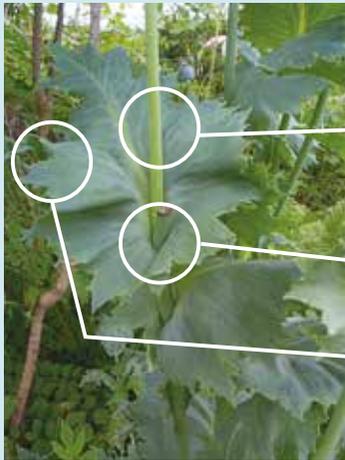
一重咲



八重咲



ソムニフェルム種の葉の特徴



- ・ 茎は無毛のものが多く、毛があっても極めて少ない。
- ・ 葉柄がなく、葉が茎を包み込んでいる。
- ・ ふちの切れ込みが浅い。
- ・ ろう質を帯びた白っぽい緑色。

セティゲルム種（アツミゲシ）

4月～5月ごろ、紫色の花を咲かせます。草丈は30～100cm程度で、ソムニフェルム種に比べて小さいのが特徴です。

繁殖力が強いため、雑草として空地や道端に生えていることがあります。

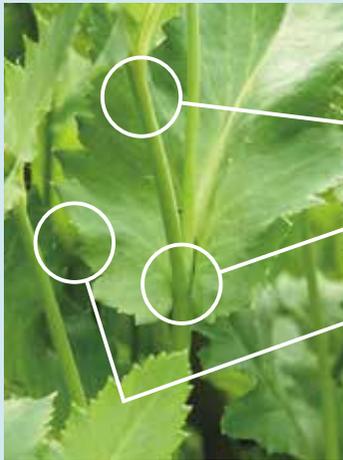
全草



花



セティゲルム種の葉の特徴



- ・ 茎は無毛又は白色の毛が少し生えている。
- ・ 葉柄がなく、葉が茎を包み込んでいる。
- ・ ふちの切れ込みがやや浅い。
- ・ ろう質を帯びた白っぽい緑色。

ブラクテアツム種（ハカマオニゲシ）

5月～6月ごろ、深紅色の花を咲かせ、基部に特徴的な黒紫の鮮明な斑点があります。通常花の下部に6枚程度のほう葉をつけます。草丈は70～100cm程度の多年草です。

栽培が禁止されていないオニゲシに似ているため、誤って観賞用に栽培されてしまうことがあります。

全草



つぼみ



- ・ 多数の硬く伏せた（寝た）毛

ブラクテアツム種の花の特徴



- ・ 花びらが鮮やかな深紅色。
- ・ 基部に特徴的な黒紫の鮮明な斑点。
- ・ ハカマ（ほう葉）が4枚～6枚。

麻薬の原料が採れるけしや、幻覚物質を含む大麻は、法律で所持や栽培等が禁止されています。

しかし、けしや大麻は自生していることがあります。また、栽培が禁止されているけしであることを知らずに観賞用として栽培しているケースも見受けられます。

東京都では、栽培などが禁止されているけしや大麻を広く知っていただき、不正大麻・けしを撲滅するため、4月1日から7月31日まで撲滅運動を行っています。